がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２８７号
平成３０年１０月２２日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末崎町の石碑・祠・神社(15)

お地蔵さん（地蔵菩薩）について　～　その４

(4)　末崎町のお地蔵様は、次の箇所にあります。その２

⑦　細浦、長源寺境内、水子地蔵尊、1 体、立像、仏身 123 ㎝。建立　昭和 60 年、建立者　寄付者御芳名板に女性 53 名の名前あり。

⑧　中野、旧街道、平・中野境界、1 体、座像。建立、文政 10 年（1844 年）新沼屋、世話人、与藤太。

「新沼屋」は現在の屋号「しも」。「与藤太」は現在の屋号「後田中」。屋号「しも」は、現在は内田の高台にありますが、昔は、現在のお地蔵様の 100 m位中野よりにあったといわれています。

⑨　西舘、山根・泊里分岐点石碑群、1 体、船形石浮き彫。建立年月等は不明。

⑩　中森、麟祥寺境内、延命地蔵尊、1 体、立像。建立　昭和 54 年（1979 年）、建立者　船元家　小松藤安。

延命地蔵尊について「広辞苑」では次のように載っています。『延命利生を誓願とする地蔵菩薩。新しく生まれた子を護り、短命・夭折を免れさせるという。』

⑪　中森、麟祥寺境内、水子地蔵菩薩、1 体、立像、仏身 150 ㎝。建立、昭和 59 年（1984 年）、建立者　念佛講中女性 34 名。

流産・死産・中絶した子を救い導く地蔵菩薩。

⑫　中森、麟祥寺境内、地蔵菩薩、1 体、立像、仏身 160 ㎝。建立年、建立者、不詳。

旧街道　平・中野境界のお地蔵様、座像（座像はめずらしい）

町民運動会 8年ぶり開催

末崎体育協会（村上義孝会長）は、7日、末崎中学校校庭において、8年ぶりに町民運動会を開催した。

台風25号の影響で開催も危ぶまれたが、温帯低気圧にかわり、秋晴れの運動会日和になった。17地域から集まった、およそ千人の町民が16競技に熱戦を繰り広げた。

同運動会は、末崎村時代にはじまり、今年で65回を数える。東日本大震災後は、小・中学校校庭に仮設住宅が建ち、運動会を行う場所はどこにもなかった。

災害公営住宅が建ち、高台移転促進事業による高台への住宅が建設され、それぞれへの移転が進む中で、運動会の開催を望む声があちこちできかれるようになった。

町民にとっては、待ちに待った運動会、みんな体いっぱい太陽の光を浴びながら、生き生きと競技に参加していた。

町民が一堂に会する機会は唯一運動会であるだけに、8年ぶりに会ってハグする光景も見られた。ある60代のご婦人は、「震災後一度も会っていなかった人に会えて本当にうれしかった」と目頭を押さえた。

また、村上義孝会長は、「運動会を通して多くの人が交流し一層絆が強くなれば、末崎発展の大きな力となる。開催してよかった」と感慨深げに話していた。

新調した優勝旗を手にしたのは、総合1位の碁石地域。準優勝カップは2位の峰岸地域が獲得した、3位は西舘地域であった。入賞された地域の皆様おめでとうございます。

末崎町震災記録誌の発刊について

末崎町公益会（新沼眞作理事長）では、末崎町における東日本大震災による被災状況記録誌を発刊する準備を始めた。震災記録誌は、被災状況を写真で伝えるとともに実状（事実）を数字で、文字で正確に記載して、「地震・津波の恐ろしさを後世に残すため」に編纂する。被害状況を具体的に数量で示す必要があるところは、数字で示して、状況が想像できるようにする。また、できるだけ平易な表現で分かりやすくするとのことです。

〈町民の皆様にお願い〉

編集委員会では、これから、資料収集に入りますので、お手元に震災に関わる写真があれば、ご提供（貸与）いただければ幸いです。また、他に多くの写真を保管している方がおられれば、編集委員にご紹介くださいますようお願いいたします。

〈編集委員〉

編集委員長　新沼眞作
副編集委員長　梅沢紀三
編集委員　村上征一
編集委員　菅原均
編集委員　大和田初男
編集委員　菅野一

健康寿命の秘策

顧問　高橋雄一
佐々木聖雄
上部泉

NHKスペシャル番組（13日）「健康長寿の秘策」において、健康寿命を延ばすには、「運動よりも、食事よりも、**読書が大事**」ということに注目した。

山梨県は健康寿命、男性は全国1位、女性は3位。図書館の数も全国1位、図書館の来館者も年間92万人という。読書と長寿の関係をみると、読書する人の方が、しない人に比べて寿命が2年長かったというのである。読書で知的な刺激を受けるからだろうといわれる。「心が動くと、体が動く」という言葉がある。読書によって、思い・感じ（感銘をうけて）、自分もそうありたいと思い行動に移していくことも効果をもたらしているというのである。

また、子供の時、しっかり教育を受けると、認知症になりにくいという。今や4人に1人が認知症になるといわれる。これからでも遅くないから本を手にとってみよう。子供や孫にはできる限り読書を進めよう。未来ある子供たちだから。そして日本を背負ってもらう子供たちだから。

★「第23回（平成30年度）末崎町民文化祭」開催

趣旨

町民の文化活動推進の一環として、幼児・小・中・高校生、一般の文化交流を深め、心豊かに暮らせる地域社会の形成に役立てるため、町民文化祭を開催する。

後援　大船渡市立中央公民館

会場　展示部門　ふるさとセンター
舞台部門　末崎中学校体育館

日時　11月2日(金)～4日(日)

展示部門
2日(金)　12時～16時
3日(土)　9時～16時
4日(日)　9時～12時30分

舞台部門
4日(日)　9時30分～12時

展示作品の受付は
11月1日(木)　16時～17時
11月2日(金)　9時～10時

ふるさとセンターに各自持込作品の搬出は4日(日)12時40分からお願いします。

★「パソコン・スマホ相談」

日時　11月10日(土)　13時～16時

場所　ふるさとセンター2階会議室

パソコン・スマホ操作でお困りの方、さらにレベルアップを図りたい方、どうぞおいで下さい。

★「草月流生け花」教室

日時　11月14日(水)　10時～12時
11月28日(水)　10時～12時

会場　ふるさとセンター2階会議室

主催　末崎地区公民館

講師　鈴木隆子さん

持ち物　花器・花ハサミ・剣山・水切りボール・タオル・ゴミ袋・新聞紙

費用　花材代は実費となります。

連絡先　鈴木隆子さん
電話29－3473

＊花材の準備がありますので、みなさま自由にご参加下さい。10月31日(水)までに連絡をお願い致します。